

IMANAKA Hiroshi
今中博之

「デザイナー最強説」を考えている。現在のグローバリゼーションの急激な進行は誰の眼にも明らかです。中心と周縁。上流と下流。閉塞感を助長するようなキーワードが経済界や教育界を闊歩しています。「幸せを感じない社会」は様々な差別を生み、人々のモチベーションを低下させます。既存の社会システムを組み替えるだけではなく、新たな社会システム作りが求められています。それを可能にするのは、錯綜する情報を整理しパラダイムシフトを作り出すデザイナーなのです。私は「デザイン/アート・教育・福祉」の領域を横断的にプロデュースする「アトリエインカーブ(*)」の取り組みを通して現行の社会システムを変容させるコンテンツとシステムを構築してきました。無から有を生み出す発想力とフロンティア開拓の冒險心を持つデザイナーこそが「幸せを感じる社会」の創造者になると信じています。



国と企業にソーシャルデザインを提言。イマナカデザイナー級建築士事務所代表。社会福祉法人素王会アトリエインカーブ理事長。文科省・厚生労働省懇談会委員。Gマーク等受賞歴多数。

日本の福祉の世界を180度変えた。
そのパワーの源がデザイナーだった。
彼は、デザインの力を信じている。

*アトリエインカーブとは…厚生労働省管轄・社会福祉法人 素王会アトリエインカーブでは、芸術的才能を授かった、知的に障がいがあるひとが、アーティストとして独立することを目指します。その作品は、ニューヨークのギャラリーや国内の現代美術館で発表。オリジナルグッズは国内の主要な現代美術館(サントリーミュージアム天保山・金沢21世紀美術館・国立新美術館・原美術館等)や、ミラノ・ロンドンのポールのミスで販売されています。また、電通やサントリーなどの企業と連携しCSR(社会貢献事業)を基軸とする社会システム作りを行い、厚生労働省・文部科学省・文化庁に対しては彼らの作品の芸術性に関する提言を行っています。スタッフは全員デザイン・アートの出身者で構成。